

№144号 ふくし一里塚

学区の現状 2月1日現在
 65歳～74歳 人口 2,329人
 75歳以上 人口 1,985人
 高齢化率 16.45%(市全体 21.55%)
 発行：守山学区社会福祉協議会

友愛訪問実施中

おひとり暮らしの高齢者の方を対象に、友愛訪問事業を実施しています。
 余寒なお厳しい折、お体をおいとくださいますようお祈り申しあげます。

<地域福祉部会>

自分達で打ったお蕎麦の味？

サムズ守山自治会

昨年秋のさわやかサロンで、お蕎麦の手打ちを体験しました。

みずほ蕎麦倶楽部の「出前教室」を守山会館調理室で開催していただきました。

男女混合で4班に分かれて、「粉混ぜ・練り・延ばし・切り・湯がき」各班先生方の「お手本」の真似をするだけでも、とても大変！「手直し」付きで、なんとか盛付けまでたどり着きました。倶楽部の女性方が揚げて下さった「天ぷら」も添えていただいたので「おいしそ〜！」

和室に移って試食会！蕎麦かりんとうのデザートもついて、とても美味しくいただきました。倶楽部の皆様、有難うございました！



福祉協力員研修実施 1/18

(社副)滋賀県聴覚障害者福祉協会 びわこみみの里を訪問し、実施しました。副所長の板垣幸雄さんから、施設の概要について説明をしていただき、施設内を見学させていただきました。

みみの里は、いきいきと仕事をし、仲間を作り、地域へ旅立っていく…そんな障害のある人々を応援している「仕事」と「訓練」を行う施設です。

皆さんの一生懸命に作業されている姿に、働くこと、つながることの大切さを改めて実感しました。



福祉講座開催 1/29

湖南三山長寿寺 藤支照子さんをお迎えし「忘れそうな大切な心」と題して講演をいただきました。



世の中はどんどん便利になってきていますが、失いつつあるものもあります。感謝する心・ものを大切に作る心・敬う心・・・家庭でのお互いを思いやる心遣いを子や孫にみせることで、子ども達は日々の生活の中で学ぶことになり、次の世代へとつなげていってくれます。

気取らない普段口調でのお話で、忘れかけていたことに気付くことが出来た講演会となりました。



「介護予防・日常生活支援 総合事業」

2015年の介護保険法改正により創設され、2017年4月からは全国すべての市区町村において様々なサービスが開始されています。

総合事業は、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるようにそれぞれの能力を活かして、住民どうしがつながることを構築する仕組みです。地域の様々な人達が連携し合うことで、住民どうしで支え合っていこうというものです。

守山学区の取り組み

守山学区社会福祉協議会では、「～人の和・地域の輪～心をつなぐふれあい(愛)のあるまちづくり」を基本理念に、住民が主体となった活動を推進しています。

学区内の2自治会をモデル地区に指定し「支え手」「受け手」と二分せず一人ひとりの可能性を引き出し、「できないこと」よりも「やりたいこと・できること」を発信できる場所として、誰もが集い、活躍できる居場所づくりについて取り組んで頂いています。今後、各自治会へつなげていきたいと考えています。



ともに暮らす地域づくり

- * コミュニティカフェ・・・子育て世帯とのつながり
- * 趣味の会・・・子どもから高齢者のつどいの場
- * 学校が終わってからの地域のつどいの場